

令和元年度公益社団法人鹿児島県栄養士会事業報告

鹿児島県においては、疾病の重症化予防、高齢社会に対応する地域包括ケアシステムを推進する「栄養管理」の専門的な知識と技術が必要とされている。それら社会的ニーズに応える管理栄養士・栄養士を育成するための（公社）鹿児島県栄養士会主催の研修会を3回実施した。また、基礎教育となる生涯教育を3回実施し、（公社）日本栄養士会が主催する「認定管理栄養士」認定試験に7名が挑戦し全員が合格した。

鹿児島県から委託され作成した「食によるフレイル予防の手引き」を活用しての「ロコモ・フレイル予防啓発促進事業」にのべ9名の管理栄養士を派遣し、食生活改善推進員387名の実習を行った。また、「食のウェルネススポットに関する報告書作成業務委託」では、県下7カ所に管理栄養士を派遣し報告書を作成した。鹿児島県の糖尿病重症化予防対策事業の一環として、糖尿病重症化予防の保健指導に従事可能な栄養士登録制度に協力し、管理栄養士82名が登録をし、3回の研修会に参加した。

本会の重要な公益事業となっている県民公開講座を阿久根市にて実施し、参加者250名に対して、医師と管理栄養士から「糖尿病予防と食生活」について最新の治療と食生活について分かりやすく紹介された。「管理栄養士によるクッキング講座」は例年通り毎月（令和2年3月を除く）開催され、合計189名の参加者であった。食生活の改善を促すための講演会、栄養相談などにのべ60名の講師を派遣し、様々な機会です食事と栄養の専門的知識と技術を普及した。鹿児島市が主催する桜島火山爆発総合防災訓練に参加し、医療職協働による避難所支援、災害食とし備蓄できる液体ミルクの紹介を行った。「栄養110番」は毎週水曜日に、歯と口の健康週間、小児サマーキャンプ、全国糖尿病週間関連行事などに共催者として参加した。その他健康づくりに関する関連団体が主催する数多くの事業に参加した。栄養ワンダー2019鹿児島島の活動として栄養週間（8月1日～7日）に26施設で健康増進につながる食事を紹介すると共に、管理栄養士・栄養士の栄養改善活動を広報した。

スポーツ栄養に関する研修会を12回開催し、188名が参加した。研究活動としての垂水研究では、食物摂取頻度調査などの調査活動を16回実施し、のべ78名の会員が参加した。

新型コロナウイルスの感染拡大防止という観点から令和2年3月の研修会、クッキング講座等は開催を中止した。